

## 原発ゼロ・再エネ100の会

議題: 電力価格高騰の原因と対策について2)

日時: 2022年5月26日 9:00~10:00

場所: Zoom ID: 845 6237 9258 パスコード: 315570

<https://us06web.zoom.us/j/84562379258?pwd=OHYvenNaZVFGB3ozQTNLOFJ2MDM2Zz09>

### 電力価格高騰に関する更問

経産省は、2022年4月27日に、パワーシフト・キャンペーンからの4月15日付要請書に対し、

「電力・ガス取引監視委員会では、市場価格が高騰した場合、入札可能量の全量が適切に市場供給されているか、大手電力に対して、入札データの提供を求めこれを確認するとともに、確認結果を速やかに委員会ホームページで公表してきました」

「今般の価格上昇の一事をもって、卸取引市場の市場設計に問題があるとは考えておりません。いずれにしましても、当委員会においては、健全な競争環境を確保するため、引き続き厳格な監視を行うとともに、市場参加者が適切な値決めを行えるよう、さらなる情報公開に取り組んで参ります」などの回答を行いました。

しかし、参加者から多くの疑問が寄せられたので、経産省に改めて回答を求めます。

1. 大手電力(旧一般電力事業者)の内部取引価格と市場価格は、情報公開されているか。
2. 電力・ガス取引監視委員会は、内部取引価格と市場価格を比較・監視しているか。
3. 価格高騰により新規受付停止や倒産、撤退に陥る新電力がいる中で、「健全な競争環境を確保」できていると言えるのか。
4. 発電事業の8割以上は大手電力の寡占状態にあり、大手電力は自社小売への供給を優先して、余剰電力だけを「入札可能量の全量」として「市場供給」している。その是正はどのように行うのか。
5. 大手電力の電力料金が2021年度冬季(2~3月)に「高騰」していないのは何故だと考えるか。消費者を保護するために継続中の規制料金、総括原価方式との関係をどう考えるか。